

ケーススタディ ⑭
岩手県山田町における探索等の取組状況

令和 7 年 2 月

所有者不明森林等における探索等工程調査業務の概要

- ① 司法書士等の専門家による所有者探索を実施し、
- ② 探索業務に要した日数等の工程、探索ノウハウの整理を行うとともに、
- ③ 所有者不明森林、共有者不明森林であった場合は、特例活用に向けた準備（確知所有者へのアプローチや現地調査等）を支援する

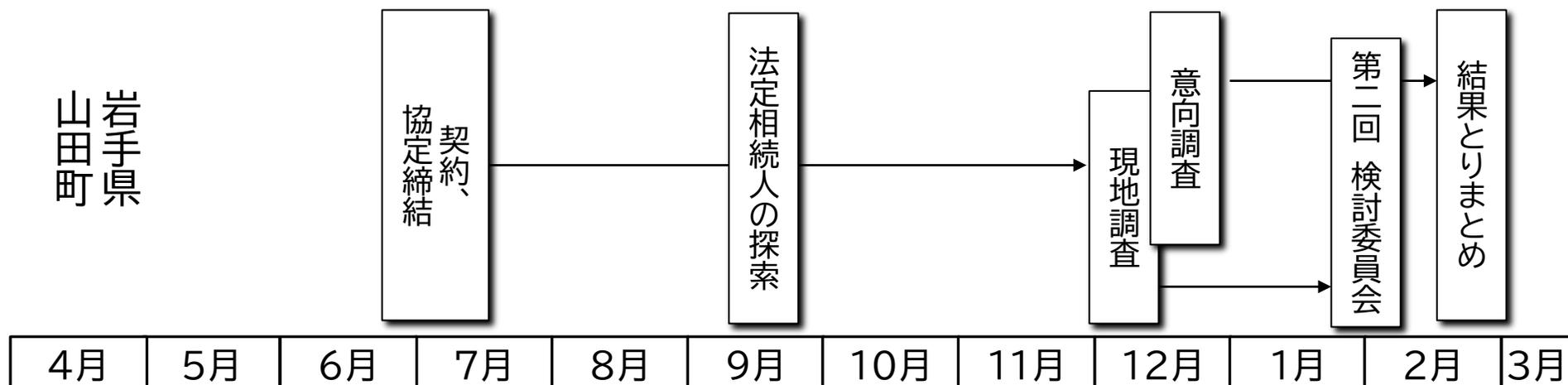
【事業フロー】



- 対象地域
岩手県山田町において、3筆を選定
- 探索等実施者
株式会社四門、司法書士（こすもす司法書士法人）

所有者不明森林等における探索等工程調査業務の流れ

- 町・(株)四門で協定を締結。探索は司法書士、現地調査及び意向調査は(株)四門が実施。
- 令和6年9月から探索作業を開始、令和6年中に探索完了。12月以降、探索完了箇所の現地調査、意向調査を実施。



対象市町村：岩手県山田町

対象森林：スギ、アカマツ等の人工林3筆（60～75年生）

登記名義人：3筆とも1名



山田町の概要

- 山田町には、約24,000haの森林があり、その4割（約9,900ha）が民有林。このうち、約4,300haを人工林が占めており、人工林の9割以上が木材資源として利用できる状況。
- 森林経営管理制度を優先的に進める対象森林は、地籍調査が完了している森林とし、樹種については、当面の間、人工林のうち、スギを優先とし、次いでアカマツ、カラマツを対象とする。
- そのような中、今回の事業では、地籍調査が完了しており、登記情報が古く、数次相続が生じていると思料されたA、B、Cを対象地に選定。

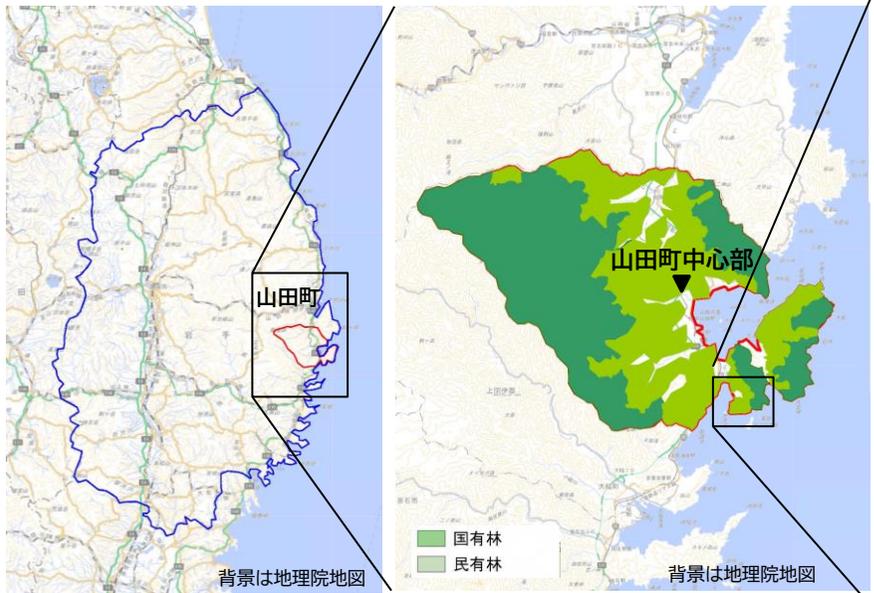


図1 山田町及び調査対象森林の位置

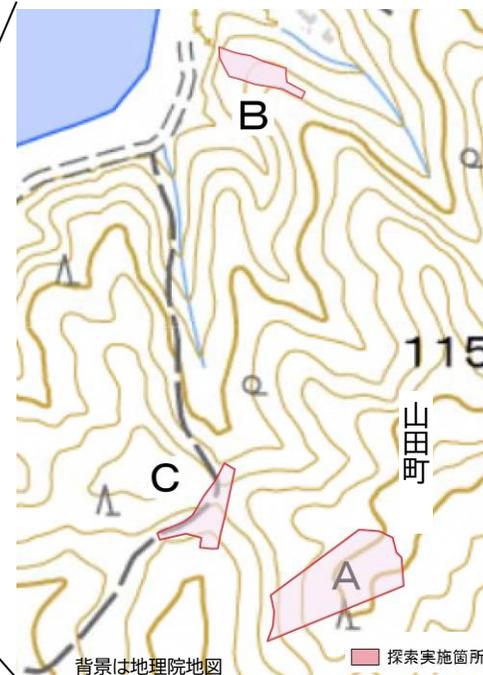


図2 対象森林位置図

■ 対象地A、B、Cを対象とした理由

- 対象森林は地籍調査が完了しており、境界が明確。
- 登記情報が古く（明治29年～昭和18年）、数次相続が発生していると思料。
- 隣接する森林で集積計画策定を検討中。所有者を探索し、将来的には周辺森林と一体的に森林整備を実施したい。

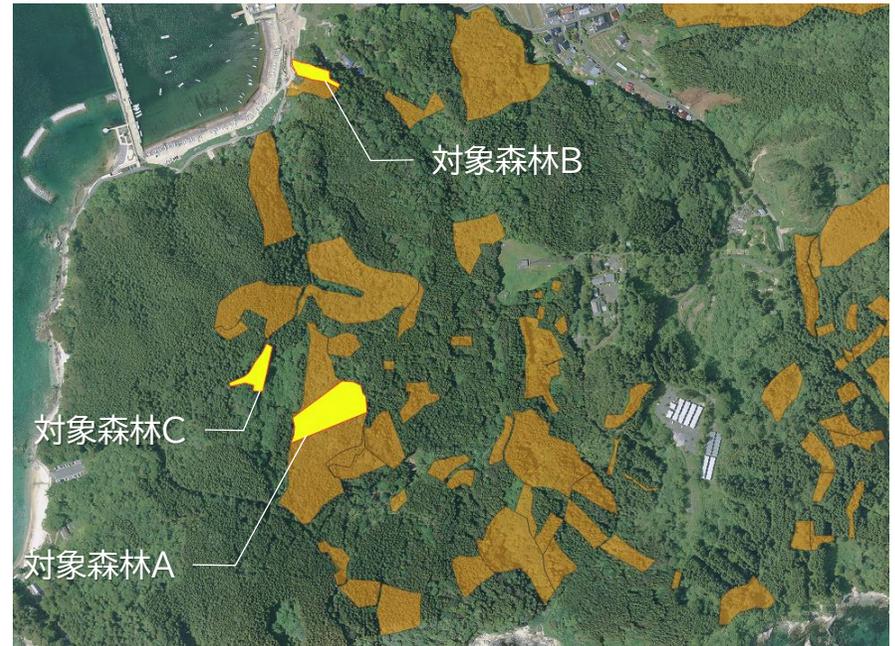
以上の理由により、探索等工程調査の対象として3筆を選定。

山田町の対象森林の概要

- 対象森林A、B、Cはスギ、アカマツ等の人工林3筆（60～75年生）
- 平成19～20年に地籍調査が行われている。
- 登記情報が古く（明治29～昭和18年）、数次相続が発生している可能性が高い。
- 周囲の森林約39haについて、令和5年度の意向調査において、町への委託希望があったため、集積計画の策定を目指している。
- 対象森林A、B、Cにおいても、森林所有者を探索し同意を取得できれば、集積計画を策定して一体的に森林整備を実施したいと考えている。

■ 周囲の森林で実施する施業の概要

事項	内容
存続期間	10年
実施する 経営管理の内容	切捨間伐を1回 年1回以上の巡視
費用負担	町が負担



令和5年度意向調査において町へ委託希望及び集積計画策定を予定している森林(38.66ha)
探索等工程調査対象森林(0.81ha)

山田町における探索の状況

- 対象森林A、B、Cの3筆の登記名義人はそれぞれ1名ずつ合計3名。
- 9/18に所有者探索を開始、12/6に終了。計80日を要し、探索作業時間は延べ約80時間、162通の戸籍謄本等を取得。探索に要した手数料等は約20万円。全ての森林所有者について、相続登記されていない状況であった。
- 探索の結果、98名※1を確認し、うち生存者（法定相続人等）は53名※1。

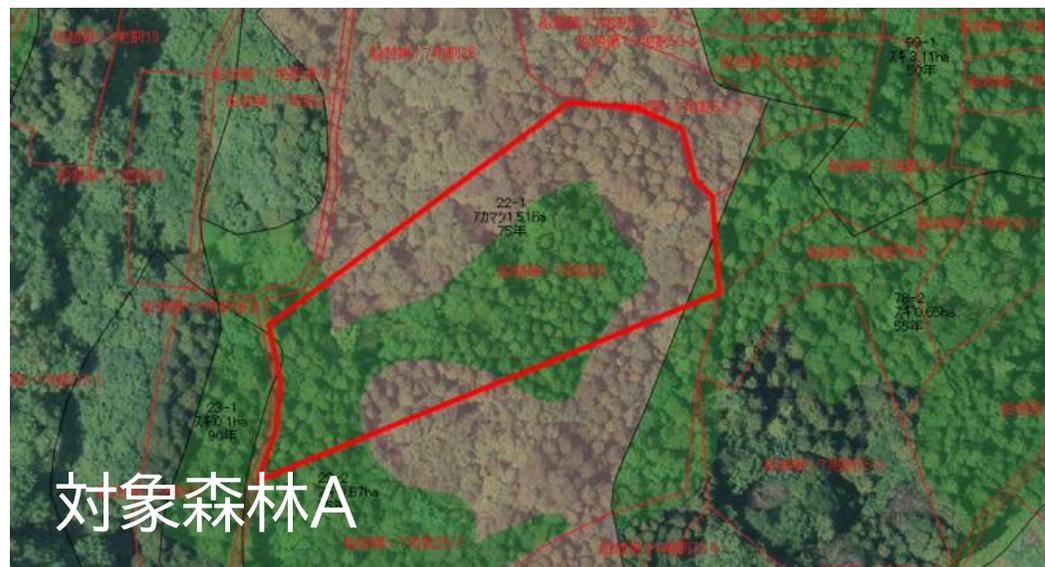
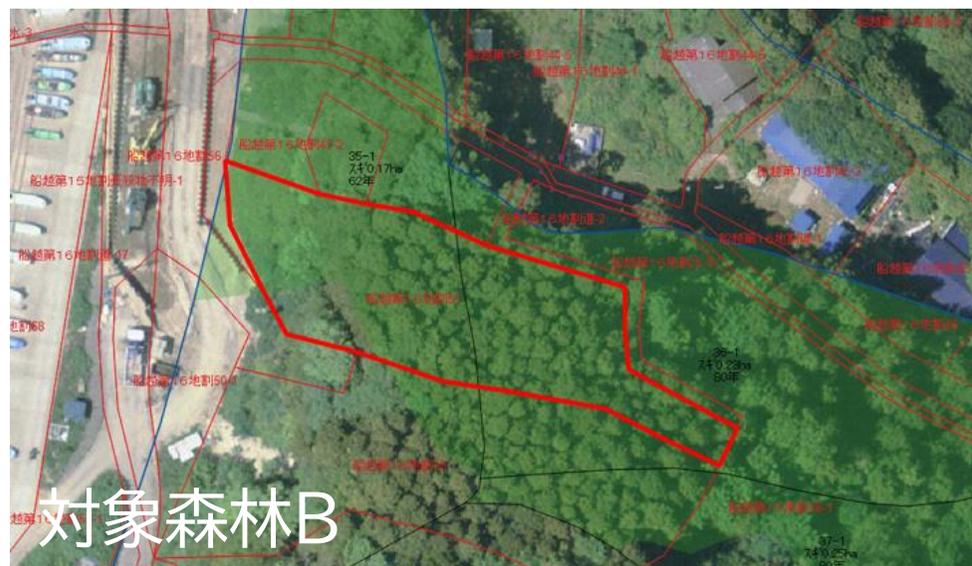
	面積 (㎡)	登記 名義人	登記名義人 の配偶者	第1世代 (子)	第2世代 (孫)	第3世代 (曾孫)	第4世代 (玄孫)	探索結果 合計	備考
A	5,285	1名	1名	11名	35名 (20名)	21名 (20名)	2名 (2名)	71名 (42名)	
B	1,161	1名	※2	2名	6名 (2名)	4名 (3名)		13名 (5名)	
C	1,582	1名	1名	5名	5名 (4名)	2名 (2名)		14名 (6名)	

※1:延べ人数。()は生存者の内数。

※2:対象森林Bの登記名義人の配偶者については、旧法時代の家督相続であるため調査せず

山田町の対象森林の状況

対象森林	A	B	C
面積	0.53ha	0.12ha	0.16ha
樹種	スギ (75年生)	スギ (62年生)	スギ、アカマツ (60年生)
傾斜	10度	25度	10度
保安林	無	無	無



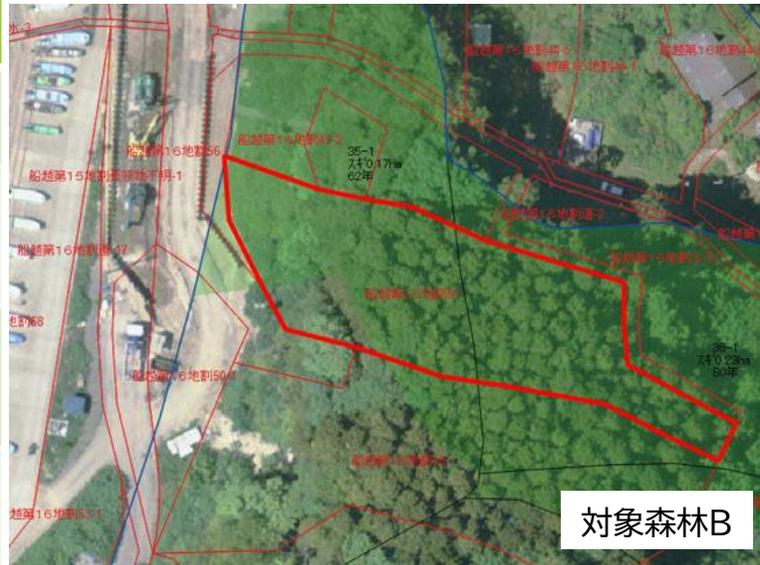
山田町の対象森林Aの状況

	対象森林A
面積	0.53ha
樹種	スギ (75年生)
本数密度	1,160本/ha
平均樹高	23m
平均 胸高直径	26cm
傾斜	10度
保安林	無



山田町の対象森林Bの状況

対象森林B	
面積	0.12ha
樹種	スギ (62年生)
本数密度	1,720本/ha
平均樹高	24m
平均 胸高直径	28cm
傾斜	25度
保安林	無



山田町の対象森林Cの状況

対象森林C

面積	0.16ha
樹種	スギ、アカマツ (60年生)
本数密度	1,990本/ha
平均樹高	20m
平均 胸高直径	27cm
傾斜	10度
保安林	無



対象森林C



対象森林Cの林内②



対象森林Cの林内①



対象森林C 林木が混み合っている箇所あり

山田町が行いたい経営管理の内容

- 令和5年度に意向調査を実施した森林のうち、町への委託希望があった森林約39haの現地調査などを進めているところ。
- 町は今後、A、B、Cの森林についても集積計画を策定し、周囲と一体的に森林整備を実施したい考え。
- 集積計画の策定森林について、切捨間伐を主体とした施業を行い、残存木の成長促進及び下層植生の発達による水源涵養機能、土壌保全機能などの維持増進を図る考え。

■ 調査対象森林で実施する施業の概要

事項	内容
存続期間	10年
実施する経営管理の内容	切捨間伐を1回 年1回以上の巡視
費用負担	町が負担

検討委員会でご議論いただきたい事項

1. 山田町の対象森林A、B、Cについては、探索の結果、相続人全員を探索することができた。今後、当該相続人に意向調査を実施し、全員からの同意を取得できた森林については、通常どおり集積計画を策定し、同意を取得できなかった者や未回答の者については、町からの働きかけの上、場合によっては確知所有者不同意森林の特例措置を活用し、経営管理権を取得するといった対応も考えられるが、ご意見はあるか。
2. 山田町の対象森林A、B、Cについて、町は周囲の集積計画策定済の森林と一体的に、切捨間伐を実施したいと考えているが、施業内容について、ご意見はあるか。